学校だより

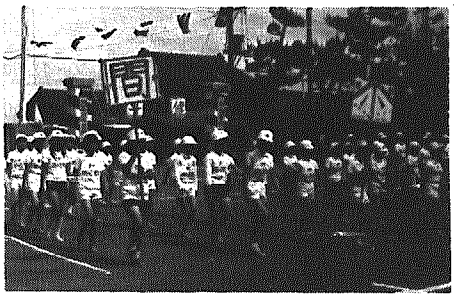
百周年を迎える 間瀬小学校

年間の大行事の一つである、地域と学校合同の運動会も終り、いよいよ一学期のしめくくりの七月を迎えようとしています。

この合同運動会も今年が第七回でした。年ごとにくふうされ、ますます盛会に活気あふれる競技、演技が展開されました。特に今年は学校百周年にちなんで、親子三代リレー（十二チーム出場）学童、村民入りまじっての盆おどり、全校児童による紅白リレーがとりいれられました。一年から六年までの紅白大リレーは全校児童七十三名の間瀬小学校ならではの、特色ある種目といえましょう。

さきほど書きましたように、間瀬小学校も九月十五日に創立百周年の記念日を迎えます。ただ記念式典だけはいろいろな御都合で十月十日に延期されます。この記念すべき百周年を迎えるに当り間瀬校のたどってきた、百年の歴史をふりかえるとき、さまざまな思いが胸に浮んで参ります。その中の一つに、なぜ越後平野を山でへだてた孤立した間瀬の地が他にさきがけて学校を創設し、教育を尊重してきたかということです。

資料に基づかぬ、およその推測にすぎませんが、最大の理由は西に開けた日本海がむしろ蒲原の村落よりも他地域との文化の交流に役立ってきたのではないか或はまた風光明媚な土地にひかれて、文人墨客、今でいう文化人のおとずれることもしばしばだったのでしょう。



とにかく、生活の糧をもとめた海にとどまらず、文化を輸入し、広く世間に目を開かせた海であり、明治以後の新学制のもと、幾多の人材を育てる原動力になったと思われるのです。今ここに百周年を迎えるに当り、間瀬の教育を考えると、忘れてはならぬ大切なことがらでありましょう。

こうして育てられた伝統をしっかりとうけとめ、新しい未来を予想し、先輩に劣らぬ、先輩を乗りこえてゆく子どもたちにしなければならぬと考えております。

このことから、間瀬小学校の本年の最も重点とするところは、子どもたちが自分から問題にとりくみ、わかるまで調べたり考えたりする態度において「豊かな心で、しっかり考えぬく子」になれると確信いたしております。そして職員の研修の方法も、ひとりひとりの子どもをしっかりと見つめ、それぞれの子どもたちが生き生きと学習する指導の手だてはどうあればよいかを研究し実践してゆくことにおいております。その成果が実り多いものになることを望んでやみません。

子どもを水がねらってる

これから夏にむかって、子どもの水死事故が多くなってきます。

水の事故の原因は、子ども同志で遊んでいるときに起きる事故がもっとも多く保護者がうっかり立ち話をしているとき、子どもが用水路や池の近くに行って事故を起こす例も多いようです。

とくに、幼児は、家の周辺の用水路、庭の池、小川などで事故を起しています。このような場所で遊んでいる幼児を見かけたら、進んで一声かけるようにして下さい。

また、子どもを水から守るために、次のことにご注意ください。

・幼児を一人遊びさせない。
・幼児同志だけで遊ばせておかない。
・仕事のかたわら子守りをする場合、付近に危険な場所があるときは、幼児の行動範囲を限定し、危険な場所に対する防備措置をしておく。
・幼ない兄姉や、遊んでいる付近の子どもに幼児を見てもらうことはさける。
・幼児が危険な水辺に遊んでいる場合は注意する。

子どもを水から守ろう

かわいいお子さんを、悲惨な交通事故から守るためにお子さんが、いつでも、どこでも、安全に行動ができるように、日常生活の中で、お子さんを指導することが大切です。

保育所、学校などでも交通安全の指導を行なっていますが家庭での指導がもっとも大切です。

そこで、子どもを交通事故から守るため、知ってもらいたいこと、また、子どもに教えてもらいたいこといろいろ考えてみましょう。

習慣づけること、交通安全の指導は、実際の体験を通して教えることが大切です。子どもと一緒に行動して、正しい交通安全のルールを、買物の行きかえりなどに、くり返しくり返し教えて習慣化することが大切です。

具体的に指導をすること子どもには、「こうしてはいけない、ああしてはいけない」というよりも、安全な行動のしかたを具体的に教えて実行させ、ほめながら教えると効果があります。

反抗期の子どもの場合はあまり禁止的な指導を行なうと、かえって反抗的な性格を強め、それこそ取りかえしのつかない交通事故を起こす危険があります。

家庭での交通安全教育を

死亡の部

氏名	年令	死亡月日	世帯主	部落
玉木ノセ	65	4・22	昭二	和納6
山川トシ	80	5・7	重作	間瀬3
青柳晶子	0	5・16	達平	栄

出生の部

氏名	生年月日	保護者	部落
玉木真美子	4・19	忠弥	油島
近藤孝夫	4・21	一昭	岩室
阿部麻美	4・27	定昭	間瀬7
水留茂則	4・27	宏男	和納10
芹沢陽子	4・29	正男	和納9
岡島亮	5・2	仁	高畑
伊藤貴央	5・4	清	和納3
高島恵	5・4	靖雄	高橋
石添幸恵	5・7	義克	岩室
青柳晶子	5・12	秀昌	栄
田村貴子	5・12	正己	和納1
石坂司	5・13	アヤ子	岩室
大岩亨	5・16	太計雄	原
高橋みゆき	5・19	喜郎	金池
富沢幸子	5・24	明	和納4

婚姻の部

氏名	前住所	新住所
渡辺健三（須田）テイ子	石納1瀬	石瀬
難波（青柳）良久	横浜市	栄
山上（山上）和子	金池	金池
佐藤（本田）ムツコ操	石瀬	石瀬
斎藤（岡部）礼子誠	燕和納市9	和納9

おめでた　おくやみ　5月31日まで